

2022年度 第4回運営委員会議事録

- 日 時 : 2022年8月25日(木) 13:30~15:00
- 場 所 : サプリ村野 環境保全研修室
- 出席者 : 丸井、赤井、市山、阪口、重村(枚方市)、末岡、豊高、藤原、宮村、
- 欠席者 : 井上、
- 議 長 : 宮村、 ■議事録作成 : 事務局
- 配布資料 : ・事務局報告7-8月
 - ・2022年度 温暖化対策事業推進チーム 第4回ミーティング 議事録
 - ・環境教育部会8月度定例会報告
 - ・自然エネルギー部会(令和4年度 第2回議事概要)
 - ・公共交通部会 第一回バスバックヤードツアー報告書
 - ・会員アンケート

1. 報告事項

① 事務局報告

- ・インターンシップ の大学生5名受け入れ。自己紹介
- ・桜丘中学校より職場体験の受け入れ相談あり。
- ・20日にミニ講座「天の川を遊ぼう」を開催。大人子ども合わせて44名参加。 定員一杯になった後も申込みがたくさんあった。
最初に環境の話、川での安全講習、5分間ゴミ拾い、自由遊び、笹船レースで約1時間半。
参加者は楽しんでいただいたし、ゴミ拾いや生きものとの触れ合いにより自然環境への意識が高まるきっかけとすることができた。
- ・緑のカーテンモニターの報告書の提出期限が過ぎ、電話での催促など回収作業に労力をとられている。大詰めである。
他議事録通り

② プロジェクトチーム・部会報告

◆地球温暖化防止対策推進チーム報告

- ・プラゴミシール貼りアンケートを今後のイベントでも継続してやっていく。
- ・自然エネルギー部会と共催で9月に講演会を開催する。
・他議事録通り

◆環境教育部会

- ・部員増強のためいろいろ試行している。
その中で、Hpのアクセスによるデータ解析を試みたが、環境出前授業の関心傾向はわからなかった。
- ・担い手募集の記事をHPにアップした。
- ・募集チラシ作成も検討している。
- ・他議事録通り

◆公共交通部会

- ・20、21日にバスバックヤードツアーを開催した。出発地点は4カ所、午前午後、計5回開催。参加者はとても楽しんでくれて、最後に「バスの運転手になりたい人」と聞くと「はい」と一斉に手が上がった。公共交通を残していくために、将来の利用者又は担い手となる子どもたちに対して、貴重な経験をしてもらえたと思う。
- ・今年度3月にもう一度バスバックヤードツアーを実施しようと考えている。次年度以降は、秋にスタンプラリー、春にバスバックヤードツアーを開催する予定である。

◆自然エネルギー部会

- ・9月26日に自然エネルギー学校のシンポジウム「迫りくる温暖化の脅威 ～現場から考える」を温暖化チームと共催で、会場とZOOMのハイブリッドで開催する。今回は、気候変動の影響を日々肌で感じておられる農業や漁業の現場のお話を聞いて、興味をもってもらう事を狙いとしている。
- ・10月には、バス見学会を開催予定。枚方ソラパと滋賀県比良山のマイクロ水力発電を見学に行く。9時～17時の長丁場であるが、バスでの移動時間を利用して、自然エネルギーの現状の話や、帰りは感想や意見交換の時間をする

2. 協議事項

① くらわんか塾について

前回結論がでなかったため、引き続きの議論を行い、下記の2点について結論がでた

<結論>

1. 今年度のくらわんか塾はどういった内容で何を目的とするか

- ・目的：枚方市民に対して、枚方の環境施策や現状について知ってもらう。
- ・内容：枚方市環境政策課の出張講座を活用し、環境基本計画の話、計画に取り組む過程の話など、また現場の生の話として、ごみ処理の現場の話などもまじえての話を聞く。

2. 次年度以降について

環境に深い関心のない方でも受講できる内容とし、次年度以降も開催する

結論が出るまでのおもな意見については下記の通りである。

<主な意見>

- ・年に一度、一般市民対象にその時の社会課題についてのシンポジウムがいいと思う
- ・興味のない人へのアプローチできる内容のものがいいのではないかな。映画や人形劇。
- ・予算はどのくらいか⇒今年度は1万円
- ・親子で参加できるものがいいのではないかな。
- ・10年位前に「環境演劇ワークショップ」を開催した。先日それを受講した子どもが大きくなって「あの時のワークショップはすごくよかった」と報告してくれた。一人でもそういう子がいると嬉しいし大きな成果である。自分たちで環境をテーマとして演劇を作り上げる、一流の指導者がつくと、本当に子どもの心に残ることがある。予算があればそういうのもいい。
- ・枚方市がどう認めてくれるか、認めてくれるものをしたい。
- ・去年のくらわんか塾の参加者の方が、枚方市の職員の方の話が聞けて有難かったとおっしゃった。一般市民の方が職員の話聞く機会は少ないので、市役所職員の話がいいのでは。
- ・出張講座は常に募集しているが、中々応募がないので、開催いただけると嬉しい。

- ・枚方市の計画を説明が聞きたい。
- ・面白いのは現場の話である。
- ・市民に身近なテーマが
- ・参加者から会員、そして部会員になってほしい。その PR も必要
- ・会員獲得は、一人一人が直接声をかけ、誘っていくこと以外にない。

② 会員アンケートについて

アンケート案を提示し意見を伺った。

<結論> アンケートは行わない。交流会については、事務局で随時実施していく。できるだけ余裕をもって告知する。

<主な意見>

- ・会員としての意識調査より、あくまで交流会のアンケートがよいのではないか。
- ・会員の意識をあえて聞くのはどうか。あまり答えたくない。
- ・会員であることイコール支援意識があるということだと思う。深堀しない方がよい。
- ・コロナ以前のような交流会の実施はまだ難しい。屋外を中心に開催してはどうか。
- ・花見はよい。蛍の見物はどうか。
- ・蛍は、生息場所を多くの人に知らせない方がよい。

※次回運営委員会・・・9月 29日(木) 15:00~16:30